

生きもの

DE

すわ

令和4年12月8日発行
 文・写真・絵 生きもの集め隊 隊長 平野 邦好



ビオトープ内のイロハモミジが紅葉してとっても美しいです。

ずるいぞ!

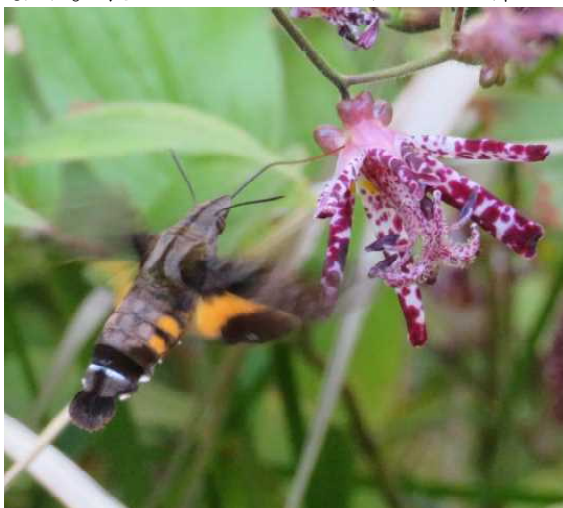
植物は虫
 に目立つよう
 に花を咲か
 せ、蜜を出し

て虫を集めます。蜜を吸いに来た虫たちが花にとまったとき、おしべに触れて体に花粉がつきます。そして、体に花粉をつけた虫が次の花を訪れたときに、その花粉がめしべにつきます。こうしてめしべに花粉がつくと実ができます。



蜜を吸うトラマルハナバチ

このことを受粉と言います。一見、植物と虫は助け合っているように見えます。しかし、下の写真の虫はどうでしょう。長いストローのような口を伸ばして、花にとまることなく蜜を吸っています。これでは受粉はできません。蜜をただ飲みさされている植物は「ずるいぞ!」と思っているでしょうね。



この虫は、昼間活動するホシホウジャクというスズメガの仲間です。

なぜ、こんなことをするのでしょうか。花にとまって蜜を吸うのには、危険が伴います。カマキリやトカゲや鳥などがねらっているからです。それらを避けるために、こうした方法に進化したのだと思われます。

2枚の写真は、10月にビオトープで撮影したものです。

花だんに入らないでね!

諏訪小学校に通う皆さんや来校するお客様が気持ちが良いように、また、卒業式や入学式のときに気持ちが晴れやかになるように花壇に花を植えています。

苗を買ってきて植えれば簡単ですが、費用がかかりすぎることで、花の種類に制限があるので全て種から育てています。

9月15日 家で苗床に種をまき、世話を始めました。

10月30日 本葉が出そろってきたので、諏訪小の花壇に100本以上を組み合わせを考えながら定植しました。

11月2日 苗のほとんどをダンゴムシ食べられてしまいました。小苗の時期はダンゴムシ・ナメクジ・カタツムリは要注意です。

11月12日13日 6種類の苗100本以上を植え直しました。無くなってしまった苗もあるので、前回と組み合わせが少し変わりました。

12月3日 もうビオラが咲き始めました。



定植前の苗



咲き始めたビオラ



苗を植え終わった花壇

皆さんにお願いです。

遊ぶのに夢中になって、花壇に踏み込まないようにしてください。

不思議な生きもの



写真の生きものはミジンコです。ビオトープの池にはたくさんの魚がすんでいます。しかし、えさが足りないと増えることができません。そこで家で育てているミジンコを月に1~2度えきとして池に入れていきます。このミジンコはすごい秘密をいっぱい持っています。次号以降でその秘密を紹介いたします。びっくりしますよ。お楽しみに。